

機関番号：34310

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2010

課題番号：20330127

研究課題名（和文） 東アジアの社会的リスクとソーシャルワーク理論と実践に関する研究

研究課題名（英文） The Research for Social Risk and Social Work Theory and Practice in East Asia

研究代表者

黒木 保博（KUROKI YASUHIRO）

同志社大学・社会学部・教授

研究者番号：20121593

研究成果の概要（和文）：多文化共生社会となった東アジア地域（中国・韓国・日本・台湾）の社会的リスク問題として、国際結婚移民女性と人権問題、児童虐待、介護問題、そしてこれらの問題解決・改善に対応する社会福祉専門職者養成問題などを取り上げた。研究成果としては、韓国・台湾での外国人花嫁の育児ストレス問題・精神的健康問題、夫から妻への虐待問題、また夫のストレス問題等について面接調査を実施し、有効なデータを得た。児童虐待では虐待防止プログラム開発に取り組んだ。介護では家族介護者負担感と抑鬱の変化、QOL 関連要因について研究した。結果、社会福祉専門職者が効果的・効率的に解決・改善するためのソーシャルワーク理論モデル構築の手がかりとなった。

研究成果の概要（英文）：Over three year period, we researched four subjects; 1) Married Migrant Women and Human Right Problems, 2) Child Abuse Problems, 3) Elderly Care Problems, 4) Problems of Social Work Education and training within the multicultural society in the East Asia Region, (China, Korea, Japan, Taiwan). We obtained the following research results regarding; 1) the parenting stress and mental-health problems of foreign brides, 2) domestic violence from husband to wife. We developed a prevention program for child abuse in this region. We also researched family member that feel especially burdened and depressed by caregiving for parents. Also, we researched QOL factors for caregivers. We arrived at a tentative conclusion to formulate an effective theory and practice method for social work in this region.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	4,700,000	1,410,000	6,110,000
2009年度	5,100,000	1,530,000	6,630,000
2010年度	4,200,000	1,260,000	5,460,000
年度			
年度			
総計	14,000,000	4,200,000	18,200,000

研究分野：社会福祉学

科研費の分科・細目：社会学・社会福祉学（3802）

キーワード：東アジア・モデル構築、社会的リスク、社会福祉専門職

1. 研究開始当初の背景

（1）東アジア地域を訪米社会と比較類化できるといふ考え方からスタートした。

（2）まず儒教文化、家族主義、共同体意識、

集団主義、地域社会など国民文化に影響を与えた思想や手段、実態を分析視点にした。

（3）高齢者、地域福祉、保健福祉などの領域の中で援助・支援に携わるソーシャルワー

ク理論モデル構築の必要性を考えた。

2. 研究の目的：

(1) これまでの調査研究成果である「老親扶養意識尺度」を開発したが、介護負担感、介護肯定観等でこれを精緻化し、得られたデータ検証によるソーシャルワーク理論モデルの構築を目的とした。

(2) 社会的リスク対象者がどのような意識をもち、自らが対応していこうとしているのかを明らかにする。

(3) 社会福祉専門職者がどのような援護理論・方法・技術を活用していくかについて研究する。

3. 研究の方法

(1) テーマごとに調査グループに分け、質的・量的調査研究方法を活用する。

(2) 韓国、中国、台湾での研究協力者による研究体制を構築する。

(3) 研究問題意識や調査研究方法の調整のために合同研究会、国際セミナーを開催していく。

4. 研究成果

(1) 東アジア地域（中国・韓国・日本・台湾）の社会的リスク問題として、国際結婚移民女性と人権問題、児童虐待、介護問題、そしてこれらの問題解決・改善に対応する社会福祉専門職者養成問題などを取り上げることができた。

(2) 韓国・台湾での外国人花嫁の育児ストレス問題・精神的健康問題、夫から妻への虐待問題、また夫のストレス問題等について面接調査を実施し、有効なデータを得た。

(3) 児童虐待では健康家族の育成に向けた虐待防止プログラム開発、育児不安を抱える親への相談体制のあり方に取り組んだ。

(4) 介護問題では介護サービス利用の決定要因に関する調査、家族介護者負担感と抑鬱の変化に関する調査、韓国での療護保護士や在宅サービス高齢者調査、中国での老人ホーム調査等を実施し、有効なデータを得ることができた。

(5) 社会福祉援助職者養成教育では実習教育における養成問題について研究したが、高齢者施設における生活相談員の職務満足度が与える影響について調査し、一定の成果を得ることができた。また国際会議に積極的に出席し、情報収集に努めた。

(6) 結果、社会福祉専門職者が効果的・効率的に解決・改善するためのソーシャルワーク理論モデル構築の手がかりが得られた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線)

〔雑誌論文〕(計 18 件)

- ① 井上祐子・黒木保博、Deci 理論を基盤とする高齢者福祉施設の生活相談員に関する調査結果、社会福祉学、査読有、51-4、2011、92-107
- ② 尹靖水・百瀬英樹・黒木保博・中嶋和夫、台湾の多文化家族の夫が妻から受ける虐待、評論・社会科学、査読有、95 号、2011、1-18
- ③ 尹靖水・金信子・黒木保博・中嶋和夫、中国データに基づく東アジア地域用老親扶養意識測定尺度の交差妥当性、梅花女子大学現代人間学部紀要、査読無、第 7 号、2011、15-30
- ④ 朴志先・近藤理恵・金潔・中嶋和夫、(韓国語)、東アジア及び欧米の大学生における結婚意思に関する研究、国際高麗学、査読有、13 号、2010、283-303
- ⑤ 金恵郷・朴千萬・中嶋和夫、(韓国語)、高齢者の社会的ケア認知に関する大学生とその親の比較研究、査読有、韓国保健社会研究、30(1)、2010、170-191
- ⑥ 尹靖水・朴志先・金潔・呉栽喜・中嶋和夫、評論・社会科学、査読有、90 号、2010、1-16
- ⑦ 尹靖水・金貞淑・張英恩・朴志先・中嶋和夫、既婚男性の家事参加に関連する既存の社会学的仮説の実証的検討、東アジア、査読有、53、2010、55-62
- ⑧ 太湯好子・實金栄・桐野匡史・竹田恵子・高井研一・中嶋和夫、家族凝集性と老親扶養意識が介護の社会化意識に与える影響：東アジア圏域と日本と中国東北地域の比較、日本保健科学学会誌、査読有、13(1)、2010、31-41
- ⑨ 近藤理恵、リスク社会におけるドイツの低所得ひとり親家庭に対する就労支援、社会分析、査読有、第 37 号、2010、81-90
- ⑩ P. S. Raikhola, Y. Kuroki, Aging and Care of the Elderly in Mixed Economy, Journal of HEPASS, refereed journal, Vol. 485 No. 1, 2009, 1-18
- ⑪ P. S. Raikhola, Y. Kuroki, Long-Term Care for the Elderly and Welfare State Regimes, Journal of HEALTH PROMOTION, refereed journal, Vol. 2, No. 1, 2009, 42-56
- ⑫ P. S. Raikhola, Y. Kuroki, Aging and Elderly Care Practice in Japan: Main Issues, Policy and Program Perspective; What Lessons Learned from Japanese Experience, Dhulagiri Journal of Sociology and Anthropology, refereed journal, Vol. 3, 2009, 41-82
- ⑬ 尹靖水・金貞淑・巖基郁・黒木保博・中

嶋和夫、東アジア地域用老親扶養意識測定尺度の開発、評論・社会科学、査読有、87号、2009、17-26

- ⑭ 朴志先・桐野匡史・三輪英里子・金貞淑・尹靖水・中嶋和夫、韓国の母親の育児ストレス評価とマルトリートメント傾向、東アジア研究、査読有、51、2009、17-26
- ⑮ 吳栽培・岡田節子・金貞淑・朴志先・中嶋和夫、障害幼児の発達特性と母親の育児負担感の関係、大東文化大学紀要・社会科学、査読無、47号、2009、258-294
- ⑯ 柳漢守・岡田節子・三輪英里子・朴志先・桐野匡史・中嶋和夫、(韓国語)、韓国の母親の育児関連 Daily Hassles とマルトリートメントの関係、又松大学校大学論文、査読無、14号、2009、694-706
- ⑰ 尹靖水・中嶋和夫・金貞淑・嚴基郁・黒木保博、在宅高齢者の主介護者の老親扶養意識とストレス認知的評価の関係、評論・社会科学、査読有、85、2008、67-82
- ⑱ 尹靖水・張英恩・金貞淑・中嶋和夫、要介護高齢者の問題行動の発現に関連する人口学的要因、梅花女子大学現代人間学部紀要、査読無、5、2008、35-40

〔学会発表〕(計 10件)

- ① 蘇珍伊・権泓珠・黒木保博、韓国の在宅ケア施設で働いている療護保護士の業務における悩みごと・困りごと・療護保護士のインタビュー調査を中心に、第15回日本在宅ケア学会学術集会、2011年3月20日、県立広島大学(広島市)
- ② 権泓珠・蘇珍伊・黒木保博、韓国の在宅サービス利用高齢者のサービス利用経緯ーデイサービス利用高齢者へのインタビュー調査から見えたことー、第15回日本在宅ケア学会学術集会、2011年3月20日、県立広島大学(広島市)
- ③ 楊開宇・蘇珍伊・権泓珠・黒木保博、中国の施設高齢者の施設入所への想いと生活の悩み事ー青島市の老人ホーム高齢者への調査から見えることー、第11回中国 사회복지研究会、2011年1月15日、金城学院大学(名古屋市)
- ④ 権泓珠・蘇珍伊・黒木保博、東アジア地域の女性高齢者のQOL関連要因、2009年度韓国社会福祉学会秋季共同学術大会、2009年10月23日、韓国・国立釜山大学校、
- ⑤ 林曉淵・蘇珍伊、韓国老人長期療養制度の効果性ー家族介護者の介護負担感と抑鬱の変化から、日本社会福祉学会第57回全国大会、2009年10月10日、東京・法政大学
- ⑥ 権泓珠・黒木保博、東アジア高齢者の社会的支援に対する選好、2008年度韓国社会福祉学会秋季学術大会、2008年10月

25日、梨花女子大学(ソウル市)

- ⑦ 権泓珠・蘇珍伊・黒木保博、東アジア大都市在住高齢者のQOLに関連する要因ーQOL関連要因ーQOL関連要因の性別間特徴に焦点をあててー、第56回日本社会福祉学会全国大会、2008年10月12日、岡山県立大学(総社市)
- ⑧ 権泓珠・蘇珍伊・黒木保博、東アジア大都市在住高齢者のQOLに関連する要因ー名古屋市(日本)・大田市(韓国)・瀋陽市(中国)での調査を基に、第56回日本社会福祉学会全国大会、2008年10月12日、岡山県立大学(総社市)
- ⑨ 権泓珠・黒木保博、東アジア高齢者のインフォーマルサポート受領程度と関連する要因、第50回日本老年社会科学学会全国大会、2008年6月28日、大坂府立大学(大阪市)、
- ⑩ 権泓珠・黒木保博、東アジア高齢者のインフォーマルサポート受領程度と関連する要因、第50回日本老年社会科学学会全国大会、2008年6月28日、大坂府立大学(大阪市)、

〔図書〕(計 2件)

- ① 中嶋和夫監修、尹靖水・近藤理恵編著、黒木、他、多様な家族時代における新しい福祉モデルの国際比較研究、学文社、2010、414
- ② 黒木保博、スウェーデンにおける福祉専門職養成教育とスーパービジョン、井岡勉・埋橋孝文編著、地域福祉の国際比較ー日韓・東アジアモデルの深索と西欧モデルの比較、現代図書、2009、381-392

6. 研究組織

(1) 研究代表者

黒木 保博 (KUROKI YASUHIRO)
同志社大学・社会学部・教授
研究者番号：20121593

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

中嶋 和夫 (NAKAJIMA KAZUO)
岡山県立大学・保健福祉学部・教授
研究者番号：30265102
尹 靖水 (YOON JYONSOUG)
梅花女子大学・現代人間学部・教授
研究者番号：20388599
権 泓珠 (KONG HYOUSYU)
岡崎女子短期大学・人間福祉学科・教授
研究者番号：80369579

近藤 理恵 (KONDO RIE)
岡山県立大学・保健福祉学部・准教授
研究者番号：60310885
桐野 匡史 (KIRINO MASAFUMI)
岡山県立大学・保健福祉学部・助教
研究者番号：40453203
蘇 珍伊 (SOU JINGI)
中部大学・現代教育学部・講師
研究者番号：80454370